

保護者様

倉敷市立大高小学校  
校長 神原 尚洋

## 地震発生時の対応について（保存版）

花冷えの候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、地震発生時の対応について、下記のように児童の安全を確保しますので、ご理解の上、ご協力をお願いします。

学校からの緊急連絡は、「保護者連絡帳」でお知らせします。何らかの事情により登録をされていない方は、登録をされている方から連絡がまわるように、お知り合いの保護者にご依頼ください。

### 記

#### 1 児童が学校にいて地震が発生した場合

##### 「震度5弱以上のとき」

保護者が引き取りに来られるまで学校に待機させます。たとえ、時間がかかっても保護者が迎えに来られるまでは、学校でお預かりします。

※ ただし、被害状況によっては、引渡し場所が「教室」でない場合があります。

※ また、津波の到達が予想される場合は、迎えよりもまず自分の身の安全を最優先してください。

##### 「震度4以下のとき」

校内及び通学路の安全を確認したのち、原則として通常通り授業を行い下校させます。状況に応じて、教職員付き添いの集団下校をしたり、いつもより早めに下校したりする場合があります。

#### 2 児童が登校前に地震が発生した場合

##### 「震度5弱以上のとき」

原則として自宅待機とします。（学校からの安否確認があります。）自宅において、余震や災害情報に注意し、家族の安全確保を最優先してください。その後の対応については、学校からの連絡（「保護者連絡帳」）をお待ちください。

##### 「震度4以下のとき」

自宅周辺及び通学路の安全を確認の上、原則として登校します。

#### 3 児童が登下校中に地震が発生した場合

##### 「震度5弱以上のとき」（児童が経験したことの無い大きな地震と感じたとき）

- (1) 安全を確保する行動をとり、揺れがおさまったら周囲の安全を確認する。
- (2) 自宅か学校の近い方に避難する。（自宅に人がいない児童は、学校へ向かう。）
- (3) 自宅に戻った児童は自宅待機。（学校からの在宅・安否確認があります。）
- (4) 登校した児童、学校に戻った児童は、保護者が引き取りに来るまで学校に待機させます。たとえ、時間がかかっても保護者が迎えに来るまでは、学校でお預かりします。

##### 「震度4以下のとき」（児童が経験したことのあるくらいの地震と感じたとき）

安全を確保する行動をとり、揺れがおさまったら周囲の安全を確認し、登校・下校をします。校内及び地域・通学路の安全を確認したのち、原則として通常通り授業を行い下校させます。状況に応じて、教職員付き添いの集団下校をしたり、いつもより早めに下校したりする場合があります。

◎ ゆれを感じたら、ブロック塀や高い建物、川岸からすぐに離れる。ランドセルや手提げ袋等で頭部を守る。建物の中にいる場合は、部屋の中央で身をかがめる、机等の下に避難する。

※ 地域や自宅周辺が危険な状況にある場合は、上記の限りではありません。保護者の方は、各地域で協力していただき、児童の安全確保を最優先し、適宜、安全第一に避難させる、登校を遅らせる等の判断をしてください。

※ 災害発生時には、緊急連絡用回線の確保が必要なため、電話での問い合わせはお控えください。

※ 震度は「0、1、2、3、4、5弱、5強、6弱、6強、7」の10段階で発信されます。